

2015.12.21

全員参加でクイズ10問に挑戦！第3回石狩海岸フォーラム

おもしろ自然教室 「石狩海岸 クイズでふしぎ発見！」開催



11月29日(日)、「第3回石狩海岸フォーラム／石狩海岸クイズでふしぎ発見！」をいしかり海浜ファンクラブ主催、石狩浜海浜植物保護センター共催で花川北コミセンで開催しました。石狩海岸フォーラムは、石狩海岸の貴重性を多くの人に知ってもらい、海岸の環境保全に繋げていこうという趣旨で過去2回札幌で開催され、今年3回目は石狩市民へ訴求を図る狙いで地元石狩で開催しました。

今回は分かりやすさという観点から、4人のプレゼンターが、石狩浜の代表的な植物や生き物であるハマニンニク、イソコモリグモ、キタハウネンエビ、キタアカシジミに成りきって、生き物からのメッセージをクイズ形式でみなさんに伝えるという形で行いました。答えてもらうクイズは二択形式で10問。正解が発表されるたびに歓声が湧き、全員最後まで積極的に参加していただきました。参加者にはお土産と共に石狩海岸博士認定証をお渡ししましたが、「こんな素晴らしい自然があるなんて知りませんでした!」「このイベントを市内の学校で出前講座として子どもたちに伝えて欲しい!」など多くの声が寄せられました。



クイズは10秒間の相談タイムの後、一斉に青かピンクのカードを掲げます！せーの、ハイ！！



クイズの答え方の説明も真剣に聞きます



冒頭、いしかり海浜ファンクラブ石山会長から石狩海岸の概要を説明



ハマニンニク役は石狩浜定期観察の会代表の安田秀子さん



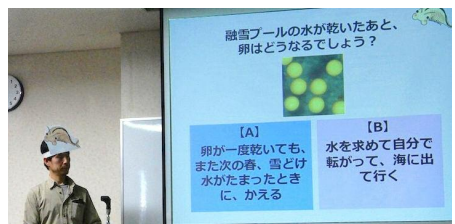
イソコモリグモ役は北大大学院農学研究院講師の松島肇さん



キタハウネンエビ役はいしかり砂丘の風資料館学芸員の志賀健司さん



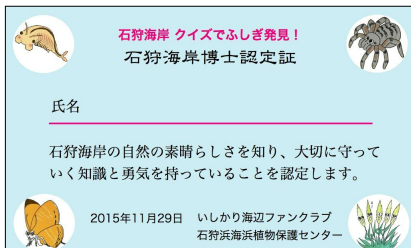
キタアカシジミ役は元石狩海浜植物保護センター職員の内藤華子さん



クイズは2つの答えから選びます



本間石狩海浜植物保護センター長からメッセージ



無事、認定証が授与されました

開拓使が石狩産はまなすで香水作りに取り組んでいた！驚きの歴史とこれからの活用！

今年の「はまなすセミナー」は香りに注目！



伊藤由紀子さん

10月10日(土)、花川南コミュニティセンターで「はまなすフェスティバル実行委員会」主催のイベント「はまなすセミナー」が開催されました。今回は、「石狩ハマナス香水ものがたり」と題して、フリーライターの伊藤由紀子さんとハーバルセラピストの尾形優子さんのお二人のお話を聴きました。

伊藤由紀子さんのハマナス香水の歴史に関するお話は、開拓使が明治9年に石狩産ハマナスを用いた香水を試験製造、事業化を模索したが成功せず、昭和初期になって香料会社によりようやく事業化。石狩はじめ地域の人が摘んだ花卉を各所に置かれた取次所（世話人）に集め、それを香料会社の札幌工場へ運んで香料を抽出、調合して香粧品メーカーに販売する方法だった、という概要。資料として開拓使文書も紹介され、新たな史実の発掘を含む大変詳しい内容でした。

尾形優子さんは、ハーブウォーター（芳香蒸留水）の利用とこれからの展望について、実際の蒸留器を前にしてお話を進め、また、数種類のクリームなどの試作品を実際に参加者に体験してもらうなど、非常に具体性に富んだお話でした。

当日は43名の参加があり、「石狩でも花摘みの歴史があったと知りました」「北海道開拓史の文書を読み解くお話が面白かった」「ハーブウォーターの知識が深まった」「石狩のハマナスを使った製品が欲しい」などの感想が寄せられました。香り体験やハマナスティーの試飲もあり、ハマナスにより興味を持つ人が増えたようです。



尾形優子さん



ハマナス再生園の整備作業に取り組んでいます！



北陽幼稚園のみなさんと苗の移植作業 (7/22)

石狩浜海浜植物保護センターでは、はまなすの咲き誇る景観の復活を目指し、隣接地のハマナス再生園で、はまなすサポーターに登録している市民や、市内の幼稚園・小学校・中学校と一緒に、いろいろな再生作業に取り組んでいます。3年目となる今年度は約2,000ポットにハマナスの種を播き、約900株の苗を再生園に移植しました。また、再生園の園路にもウッドチップを敷き、約7,000m²のハマナス再生園の散策路が完成しました。来年度もハマナスの苗づくりから移植、除草作業など行いますので、ご協力よろしくお願いします。



園路をウッドチップで敷き
詰めたハマナス再生園



ウッドチップ敷設作業 (9/18)

航空写真 (9/26撮影)

今年も環境学習の取り組みへ積極的にサポート活動をしました

子どもたちはフィールドへ、そして実践活動へ

今年度も多くの方に環境学習のために石狩浜海浜植物保護センターを訪れていただきました。教育機関での利用も多く413名にのぼっています。そんな、たくさんの活動の中から2例を紹介します。

石狩中学校

「浜学習」に取り組みました

9月10日、石狩中学校1年生が石狩浜について学びました。当日は「いしかり海辺ファンクラブ」の5名のスタッフがサポートして、ハマナスの実ジャムづくり、自然観察、キャッチコピーづくりなどを行いました。参加した生徒からは「海浜植物がたくさんあると知った」「ゴミが多くて残念」「貴重な海岸だと知り大事にしたい」などの意見が出ました。



砂丘が車両の乗り入れによって裸地化した現場を実地視察

5グループに分かれてつくったキャッチコピーを発表



生徒さんの考えた石狩浜の環境保護呼びかけキャッチコピー

「バギー車よ！自然（いのち）を守れ」
「バギーの乗り入れ ゴミのポイ捨て 貴重な自然が消えてゆく」
「ゴミを無くして 植物を大切に」
「投げれるもんなら投げてみな 未来の事は 知らないぞ」
「石狩浜のおいしい食物（しょくぶつ）」

石狩小学校

ハマナスの実でジャムづくり

10月8日、石狩小学校5年生がハマナスの実ジャムを作りました。ジャムの原料となるハマナスの実を実際に収穫して、実から種を取り出す作業も体験しました。ジャムを煮込んでいる間は、海浜植物について学びました。今年から石狩小学校では、グラウンドに海浜植物の花壇を整備、花壇づくりに取り組んだ子どもたちからは、たくさんの質問が出ました。保護センターから一番近い学校ということもあり、常日頃から石狩浜に愛着を感じている子どもたちでした。



真剣にジャム作りに挑みます



海浜植物について学びます

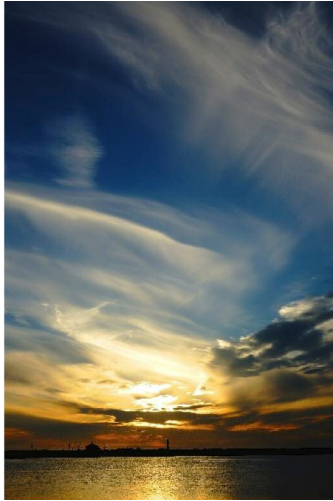
今年は「さけまつり」と同日開催。たくさんの来場者で賑わう

「はまなす広場」でハマナスの多様な魅力を発信！



9月26日（土）、「はまなす広場」が石狩浜海浜植物保護センターを会場に開催されました。展示ブースでは、ハマナスティー、ハマナスジャムの試飲・試食、ハマナスポストカード無料配布コーナーの他、ハマナスデザインの手作りグッズ販売やハマナス使用のコスメ、蜂蜜の試食、蒸留器を使ったハマナスの香り体験などのコーナーを配置して、訪れる方にとことんハマナスを楽しんで頂きました。また、はまなすポプリやしおり作りのクラフトコーナー、紋切り遊びではまなすの花びらを作ってみんなで大きな絵を作るコーナーなども大好評でした。

観察園ではクイズラリーも実施し、子供さんを含め60人の方に海浜植物のことを学んで頂きました。また、体験講座はハマナスのジャムづくりを午前、午後に1回づつ2回行い、16人の親子に参加して頂きました。自分が作ったジャムを実際に味わう事で、ハマナスの効用をしっかりと実感して貰えたのではないかと思います。こうして10時から15時までの開催中に380名の入場があり、今年も「はまなす広場」は盛況の裡に終了しました。



グランプリ「大空」 寺尾 正幸さん

今年も力作が勢揃いしました！石狩海岸の魅力を再発見～

第3回石狩海辺の風景写真コンテスト応募作品展示会

はまなすフェスティバル実行委員会では、全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「海辺の風景写真コンテスト」を開催しています。3回目となる今年は66点の応募があり、グランプリには石狩市親船東在住の寺尾正幸さんの作品「大空」が選ばれました。寺尾さんは1回目から応募されており、3回目でグランプリを受賞。全作品は下記の写真展でお楽しみください。

●第3回 海辺の風景写真コンテスト応募作品展示会

1月13日（水）～1月21日（木） 石狩市民図書館（花川北7・1）

1月23日（土）～1月24日（日） 札幌駅前通地下広場（北3条交差点広場）

2月2日（火）～2月12日（金） 札幌エルプラザ（札幌市北区北8西3）

★冬！保護センターでふしぎ発見！～謎のトゲトゲな実？

積雪浅い頃、海岸の砂丘を歩いていると、雪の上に顔を出す、しわしわのドライフルーツになったハマナスの実を見つけることができます。ところが、ちょっと様子の違う実に出会うことがあります。よく見ると・・・トゲトゲ。

これは、ハマナスの枝が変形した「虫こぶ」なんです。「虫こぶ」って言うからには、虫がつくったのでしょうか？

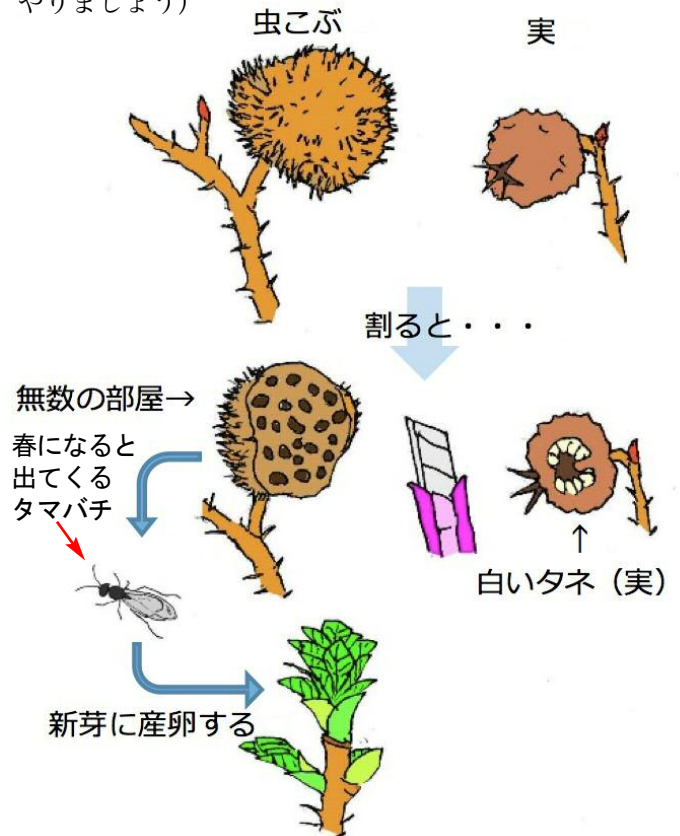
そうです。ハマナスメトゲコブタマバチ、というハチの仲間が、昨春、開いたばかりのハマナスの新芽に卵を産み、その芽がきちんと成長できずに、丸いトゲトゲに変化したのです。雪降るころには茶色く硬くなっていますが、秋までは、この丸いトゲトゲは、茎葉と同じ緑色でした。

では、中に虫はいるのでしょうか？

いますよ。割ってみると、小さな穴が無数に空いていて、その一部屋一部屋に幼虫が入っています。春、ハマナスの芽が開く頃、この丸いトゲトゲ（虫こぶ）の中から無数の小さなハチが出てきます。（人を刺すハチではありません）。この中の雌（めす）蜂（ばち）が、また新芽に卵を産むというわけです。

無数の穴の開いた虫こぶは、昨春、すでにハチが出た後のもの、穴の開いてない虫こぶは、まだ中にハチの幼虫が入っているものです。

公園や庭先のハマナスにも、よく出現します。トゲに気を付けながら、カッターナイフなどで割ってみるのも興味深いですよ。（子供さんは大人の人と一緒にやりましょう）



（文・イラスト：いしかり海辺ファンクラブ・元石狩浜海浜植物保護センター職員 内藤華子）

発行・問合せ

●編集：いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センター（開館期間 4/29～11/3、開館時間 9:00～17:00） 毎火曜定休（祝日の場合翌日休）

〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(11/4～4/28の閉館期間は以下へ)

石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当

〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269

E-mail: ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>